

第4学年 図画工作科学習指導案

日 時 7月11日(土) 1校時

対 象 4年2組 32名

授業者 外崎 美佳

1 題材名 「大冒険！コロコロトラベル」(工作)

2 校内研究との関わり

本時では、前時までに完成させたボール転がしのコースを上下に配置し、互いのコースを連続してボールが移動するようにつなげる活動を行う。友人と関わりながら試行錯誤をし、よりよくつながる表し方や動きの面白さを見いだしていく姿を目指す。

児童はこれまでに、自分のテーマを基にコースを考えたり、仕掛けを工夫したりしてきている。本時では、それらが友人のコースと出会うことで、新たな形や色、表し方の工夫などに気付くことが期待される。活動のはじめに、児童は自分たちのコースを見比べながら、「どこをつなげると自然に転がるか」「どの順番にすると面白い動きになるか」といった見通しをもち、部品の傾きや高さ、接続部分の形に着目しながら試していく。その過程で、よりよくつながるよう工夫を重ねるとともに、友人の作品と関わりながら、そのよさや工夫にも気付いていく。

コースをつなげた後には、動きを動画で撮影し、スロー再生することで、ボールの動きや仕掛けの効果を客観的に捉える。これにより児童は、「ここでスピードが変わるのがおもしろい」「この仕掛けで動きが変化している」などと、動きを改めて見直ししながら、自分や友人の表し方のよさや面白さに気づき、互いの工夫にも目を向けるようになる。

本時では、「自律に向かう学び」のうち、次の段階を位置付ける。

㊥児童と教師が学び方の進め方を調整する。

㊦児童が自分で方法を考える。

また、一人ひとりのコースのテーマの面白さや表し方の工夫について共有することを通して、

②認知・思考の多様性

を生かした学びにつなげたい。

3 本時の授業

(1) 目標 コースをつなげて遊んだり、動画でボールの動きを見たりすることを通して、自分たちの作品の造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げる。

(2) 展開 6/6

学習活動	・教師の働きかけ ◎評価 ☆支援 □校内研究との関わり
1 前時までの活動を確認する。 ・テーマを決めてコロコロくんが冒険するコースをつくった。 ・カーブやジャンプなど楽しいコースになるように工夫した。	・コースのつくり方やテーマに合わせた飾りの工夫を視点として話し合う。

2 今日の活動を確認する。	
どんなふうにつなげたら、みんなのコースが大冒険になるかな	
3 グループでコースをつなげる。 ・上から下に落ちるように箱を使って段差をつけよう。 ・コロコロくんが次の冒険コースへしっかり移れるように、コースを付け足そう。 ・順番を変えたらうまくつながるかも。 ・空の世界から地上の世界に順番に落ちていくのも面白いかもしれない。 4 動画撮影をする。 ・コロコロくんの動きがしっかり見える角度で撮ろう。 ・グループ全員のコースを止まらないでいけるといいな。 5 撮影した動画を鑑賞し、振り返る。 ・ジャンプのあとの動きが面白い。 ・ぐるぐるのカーブからゴールにちょうどよくジャンプするところがいいね。 ・テーマの飾りとボールの動きが合っているいな。 ・コロコロくんが、上のコースから下のコースにしっかりと移動できるように部品を付け足したのがよかった。	・グループごとに順番やつなぐ方法を考えながら、コースが一つにつながるようにする。 ・様々な素材(机・いす・箱など)を使えるようにする。 ・レールを付け足せるように材料(レール用の厚紙やセロハンテープ)も準備しておく。 □コースのテーマや形などから、つなぐ順番や方法を自分たちで決めて試す。〔自律④⑤〕 ・タブレットでスタートからゴールまでボールが移動する様子を動画で撮影する。 ・撮影の際は、ボールの動きの変化がよく分かるようにスローで撮影する。 □コースで遊んだり撮影したりしながら、友人の作品のよさや面白さに気付けるようにする。〔多様性②〕 ・撮影した動画をスローで見て、それぞれの工夫や面白さについて共有する。 ☆面白いと思ったのがどの部分だったかを考えることで、表し方の工夫(仕掛け、飾りなど)につなげられるようにする。 ◎コースをつなげて遊んだり、動画でボールの動きを見たりすることを通して、作品のよさや面白さについて具体的に発言したりワークシートに表したりしている。【思・判・表(鑑)】 発言・記述